

片上公民館

- ・片上地区には地区選出の市議会議員がいないため、市議会議員との接点が弱く、地域の声が届きにくい。祭り・総会・区長会などにも議員が来る機会が少なく、地域が取り残されているように感じる。
- ・議員は地元を重視しがちで、他地区、とくに議員不在地区への関わりが弱いのではないかな。
- ・おしゃべり会の参加議員の構成にも地域的な偏りがあり、片上など東側の地区の実情が十分に反映されないのではないかな。
- ・市議会議員を各地区に割り振る「地区担当制」を設け、各地区に2名程度の担当議員を配置して、区長会や地域会合に継続的に参加してはどうか。
- ・片上地区の歴史・地域資源（平家関連、北国街道・山城・遺産など）の活用について、地区内でも温度差があり、盛り上がりが十分でない。町内ごとの差や担い手不足がある。市全体として重点的に押し出す歴史資源を定め、地区単独任せではなく、市がもう少し先導・後押しする仕組みが必要。
- ・地区のまちづくりビジョンはあるが、予算を付けるだけで、実際の伴走支援や議員の関与が弱い。
- ・四方谷岩伏遺跡関連の案内版が剥げて見えにくくなっているが、長年更新されていない。議員不在地区では整備が後回しになっているように感じる。
- ・東陽中学校へ向かう通学路付近で、一部低くなっている箇所があり、大雨時に冠水して通れなくなる。その際、公民館や市役所にカラーコーン設置要請をしている。
- ・人口減少や使用料収入減少が進む中で、市として「稼ぐ力」をもっと考えるべきではないかな。ふるさと納税に加え、資源ごみ売却収入や他の収益化策など、市の自主財源確保策を強化すべきとの提案があった。今後の財政運営を見据えた発想が必要との問題提起がなされた。
- ・火葬場の焼却灰に含まれる金属類の売却益など、鯖江広域衛生施設組合関連の収入の実態を知りたい。
- ・若い世代が地域活動や議会に関心を持っていない。議員活動や市議会の内容が見えにくく、PR不足ではないかな。政務活動費の使途、視察報告、議会中継、日常活動などを、紙媒体・SNS・動画等で分かりやすく発信すべきだ。特に若年層にはネット、高齢者に

は折込や紙媒体など、対象に応じた広報が必要だと思う。

- ・ 春田んぼに対しての補助金がなくなっている。検討を。
- ・ 片上幼稚園は現在4名と少ないが、地区としては存続を願っている。
- ・ 高齢化による地区の担い手不足。
- ・ 最近市からの熊情報がない、戸口方面では出没してると聞いている。
- ・ 現在市からの通送の右開きと左開きがバラバラである統一できないのか、市からもらった回覧板も様式がバラバラ。
- ・ 嚮陽会館改修よりインフラ補修の方が大事ではないか。